



枚方市議会議員 みんなの豆 党 池上典子の 市政報告NEWS

池上典子のホームページ

<事務局> 枚方市楠葉中町35-16

<TEL/FAX> 072-856-2901

<枚方市役所> TEL.072-841-1221 (代表)

携帯用QRコード



<http://www.ikegami-noriko.jp> (いけがみーのりこ.jp)

この市政報告は、市政調査の為に発行しています。皆様から頂くメール、お手紙等はパブリックコメントとして議会活動に生かしていきますので、ご意見をお待ちしています。



「世の中に 絶えて桜のなかりせば 春の心
はのどけからまし」という有名な歌は、在原業平
が枚方の「諸の院」で詠んだとされています。

美しい季節がまためぐってきました。みなさん、
おげんきですか。

昨年の暮れは突然の衆議院選挙ということで、年末のあわただしさに輪をかけて、枚方市でも投票所の確保やポスター掲示板の設置に大慌ての準備となりました。

枚方市的人口は約41万人で、有権者数は約**32万人**です。そして、1回の選挙には枚方市だけで**約1億円**のお金がかかります。今回は国政選挙なので、お金は国が出します。

最終投票率は68.42%で前回の市長選の36.13%と比べると、国政選挙への有権者の皆さんの関心度の表れということでしょうか。

結果として、国では自民党が圧勝し、枚方市(11区)では日本維新の会からいとう信久氏が衆議院議員になられました。これで枚方市にお住いの国会議員は江口克彦参議院議員とお二人になりました。

春は新年度の予算、事業の大枠が決まる大切な季節です。原発、その後の東北、外交、防衛、社会保障等と待ったなしの難題が山積しています。国政への権限を持った方には持続可能な社会の構築をめざしてがんばって頂き

たいと思います。

枚方市でも、3月議会の中で平成25年度予算は審議されますが、税収の落ち込み、年々膨らむ扶助費(福祉のお金)、大型の箱もの、不透明な国からのお金等、自治体の力量が試される大切な時期です。ガンバリマス。

保育所の待機児童解消に向けて ··· 2P
議会で取り上げた項目 ··· 3P

- ・穂谷川清掃工場第3プラントの老朽化について
- ・貸館、貸室事業の予約、キャンセル料について
- ・留守家庭児童会室職員の雇用形態について
- ・職員の休暇制度について
- ・職員組合の事務所について
- ・市民病院について

中核市、いじめSOS ··· 8P

[池上のりこプロフィール]

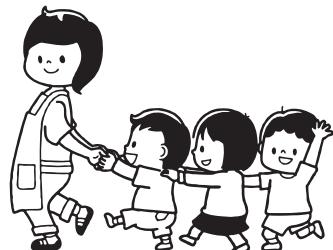
生年月日 :	1953年 1月5日生	(B型RH+)
経歴 :	1971年 岡山県立津山高校卒業	
	1975年 日本大学法学部卒業	
	1995年 枚方市議会議員 初当選	
家族 :	夫、3人の子供	
大きさ :	身長/163センチ、体重/?	
ニックネーム :	「がみちゃん♪」	

**池上のりこは既得権と選挙のしがらみを断ち、
みんなの手に政治と税金を取り戻す為に活動しています。**



保育所の待機児解消にむけて

平成20年秋のリーマンショック以降、長引く不況が長期化しています。厳しい経済情勢は特に子育て中の若い世帯を直撃し、共に働くを得ない状況を反映し保育所の待機児数は年々増え続け深刻な状況です。（枚方市の2月1日時点での待機児童数544人）



■枚方市の就学前児童数（0歳～5歳）

- 平成19年度当初2万2720人が平成24年度の当初には**2万1,786人**と
5年間で934人の減
- 平成19年度から平成22年度にかけては、毎年度平均**160人弱**の減少が、
平成23年度から平成24年度にかけては**300人**を上回る減少。

■就学前児童の保育状況

	<平成19年当初>	<平成24年5月>	<増減>
・ 保育所入所児童数	6,059人	6,549人	+490人
・ 幼稚園入園児童数	6,804人	6,568人	-236人
・ 在宅等児童数(認可外含む)	9,857人	8,669人	-1188人

以上の数字から、年々就学前児童の人数は減っているが、保育所の入所児童数だけが増えていることがわかります。

今年度も**220人**の保育所定員増を予定しているのですが、依然として入所を希望される方が多く、4月の年度当初でさえ、待機児の見込まれる状況です。

現在の公立幼稚園の認定こども園、また、保育ママ制度（保育者の居宅等で行われる3人～5人の家庭的保育）等も打開策として取り組んでいく必要があります。

また、現在は保育所に申し込む事さえあきらめている潜在的なニーズもあります。仕事を持つていなければ保育所に入ることが出来ない。⇒保育所に入れなければ仕事を持てない。こんな理不尽な状況の中でキャリアをあきらめる女性たちも沢山おられます。

若い世代が安心して子どもを持つ高質な保育環境の整備は、自治体としてもですが国にとっても最重要課題であり、超高齢化社会にあって納税者確保の観点からも重要です。

高齢化、社会保障の課題は、いびつな人口構成にあり、若い世代を支え、少子化に歯止めをかけることが「持続可能な社会」実現の近道のように思えるのですが。

* パブリックコメントとして頂いた「広域入所制度」については、平成25年度実施が実現しました。間に合わなくて、ごめんなさい。次のママたちに扉が開きました。

* ママ達のSOSに駆けつける、市内各ベビーシッター法人の皆さん、ありがとうございます。がんばって！！

議会で取り上げた項目抜粋

(要旨)

文字数の関係で言い切りがたにしていますが、議会ではお互い丁寧な言葉での議論になります。

1 穂谷川清掃工場第3プラントの老朽化について

枚方市には現在2か所の清掃工場があり、
新しい清掃工場は東部地域。もう1か所は出
屋敷（枚方市の中心部）にある穂谷川清掃工
場です。

この2か所の清掃工場で、枚方市内の家庭
や事業所（店舗）から排出されるごみを処理
しています。

これらごみの焼却量は、年間約10万トン
で、東部清掃工場の約6万7千トンだけでは
とうてい処理できない状況です。

穂谷川の第2プラントの代替施設として東
部地域に新しい清掃工場を建設する際に、穂
谷川の第3プラント工場の老朽化も見据えて
という議論もあったのですが、最終的には補助金の関係で現在の処理能力になっ
ています。

この第3プラントが建設から25年目に入り、一般的な寿命と言われる20年
～25年の期間をすでに迎えています。



池上質問

穂谷川清掃工場第3プラントの老朽化対策を進めるとのことだが、「現状調査結果報告書」によれば、故障した場合にプラントの運転停止や重大な事
故に結びつく設備で劣化状態が進んでいて、更新が必要な設備が多くみら
れるとのことだ。老朽化対策に多額の費用をかけるより、早急に新焼却施
設整備にかかった方が結果として財政負担が少ないのでないのか。

部長答弁

仮に新しい焼却施設を整備するとしても、計画から稼働までに相当期間が
必要であり、第3プラントの老朽化対策は必要。

池上質問

清掃工場建設についてはどこの自治体でも長期間で大変労苦の多い事業だ。
10年で現在の第3プラントは建設から35年を迎える。どこに、いつ、ど
のような施設を作るのか、早急に明確な計画を立てる必要がある。

部長答弁

第3プラントの後継となる焼却施設の検討を
始める時期に来ている。専門家の意見も入れ
ながら、総合的に検討を進めていく。



* 穂谷川清掃工場第3プラントの後継となる施設計画は、本来なら数年前から取り掛かるべきです。市民の皆さん、「あれば嬉しい箱モノ」はいち早く、厳しい地域の批判にさらされる本当に必要な施設は後回し、国も市も「優先順位」が大切です。

2 貸館・貸室事業の予約、キャンセル料について

生涯学習センターも含めた市の施設にある貸室の利用は、ほとんどが事前予約制になっています。しかし、生涯学習センター（以前の公民館）、地域活性化支援センター、枚方公園青少年センター、市民交流センターの貸室は前日までにキャンセルした場合、キャンセル料が発生しません。

市民会館の会議室や総合体育館、渚市民体育館は基本的に4週間前から、メセナ枚方会館と総合福祉会館（ラポール）の会議室等は7日前からキャンセル料が発生します。

池上質問 前日にキャンセルされた場合その後に別の方が利用することは難しい。公平性の観点、より多くの方への施設利用も含め、キャンセル料の見直しが必要だ。

部長答弁 来年度に向けて見直しを検討する。

* いつもたくさんのパブリックコメントを頂いてありがとうございます。これは、頂いたパブリックコメントを基にした質問です。「何かおかしい！」のご意見をお寄せください。

3 留守家庭児童会室職員の雇用形態について

枚方市では、45ある小学校の全てに留守家庭児童会室（学童保育）を設置し、仕事や病気等で、保育に欠ける児童の豊かで安全な放課後の生活を確保しています。

指導員の方には熱心に取り組んでいただき、保護者の方たちから感謝の言葉等もお聞きするのですが、今回は指導員の方（任期付短時間職員）の給与について取りあげました。

留守家庭児童会室の職員の方は、165人（平成24年10月1日現在）おられ、一人、年間1612時間、週約31時間を基本にしています。また、春・夏・冬休みを除き、早出、遅出の2交代シフトで、昼12:45分～夕方6時、夜1:15分～夕方7時が基本的な勤務時間になります。

給与分布について、300万円未満の方が115人と大多数を占める中、

300万円～350万円未満	13人
350万円～400万円未満	7人
400万円～450万円未満	8人
450万円～500万円未満	10人
500万円以上	12人



という、状況です。

一般的の給与体系では、人数と給与額をグラフに表せば山型になるのですが、谷型の分布になる不思議な形です。

池上質問 なぜ、このような給与形態になっているのか。また、倍近い給与差は、教員資格、保育士資格等の有資格によるものなのか尋ねる。

部長答弁 留守家庭児童会室に勤務する職員については、平成16年度まで「一般職非常勤職員」の身分として任用していたが、平成17年度からは「任期付短時間勤務職員」として任用している。以前、一般職非常勤職員として勤務していた職員と、新たに採用した職員と現在受けている給与額に一定の差が生じている。従って、資格の有無によって差がついているものではない。

* 倍近い給与差が、資格の有無や年齢、明確な職責に基づかず理解し難い。

留守家庭児童会室の保護者負担（利用料）は、事業経費、主に人件費に連動しています。雇用形態の適正化について検討を求めました。

4 職員の休暇制度について

枚方市では基本の有給休暇以外に、国の制度より手厚い休暇制度がいくつもあります。

分権の時代で、「自治体独自」という考え方もあるのですが、今まで給与については国の人事院勧告に準拠して上げてきたわけですから、「いいとこ取り」の感が否めません。

■有給休暇を日数で比較すると、

結婚休暇： 国が**5日**に対し、枚方市は**7日**。

夏季休暇： 国が**3日**に対し、枚方市は**7日**。

出産休暇： 国が産前**6週間**に対し枚方市は**8週間**

育児休暇： 国が**1歳**までに対し、枚方市は**1歳6か月**

その他にもいろいろあります。



■国には無い有給休暇としては、長期在職休暇（リフレッシュ休暇）もあります。

池上質問 今後中核市への移行に際して、職員の休暇制度全般を一度国基準（スタンダード）に見直すべきではないのか。

部長答弁 今後、国や各自治体の動向も見極め適切な休暇制度の運用に努める。

■また、これは無給なのですが、「組合休暇」という制度があり、1年につき30日間認められています。

そして、その中で一昨年では4月と8月の休暇取得が突出して多く、それが市議会選挙・府議会選挙の4月と市長選挙が行われた8月にピタリと当てはまります。

地方公務員法では、公務員（職員）の選挙関与については厳しく制限されています。市としての見解は、「公務員は投票の勧誘行為などの政治的行為は出来ない。」と明確なのですが、実態とのそごがあるように思え、今後も調査が必要だと考えています。

5 職員組合の事務所について

枚方市では、公共施設を職員組合の事務所として無償、「**ただ**」で貸与しています。

①枚方市職員会館の中にある組合事務所の広さ	334.79m ²
②中宮上下水道局の中にある組合事務所の広さ	99.50m ²
③枚方市民病院の中にある組合事務所の広さ	57.26m ²
3か所の組合事務所		合計491.55m²

■全ての公共施設は、言うまでもなく市民みんなの財産であり、それは当然市民サービスの為に使われなければなりません。そして、必要があって貸し出す場合でもその価値に見合う使用料を頂き、市の収入に計上することはあたりまえのことです。

①の職員会館は枚方市駅から歩いて1～2分程度、市民会館の隣です。約334m²という広さも、ご自分のお家と比較していただくと、想像しやすいと思います。



■以前からこの問題を議会で取り上げてきましたが、全く進展がありませんでした。

それが数年前、現橋下大阪市長の知事時代に、大阪府で組合事務所の退去まで求めて司法判断に委ねられました。

このことがマスコミ等でも大きく取り上げられ、世論を動かし各自治体で職員組合の事務所に対して賃料を要求する動きが広がってきました。

■そして、ようやく担当部長より「予算編成時期を見据えながら、行政財産使

用料の算定根拠や規定方法などについて検討を進める」との回答を得ました。

3月に審議される、平成25年度予算を注視していきたいと思います。

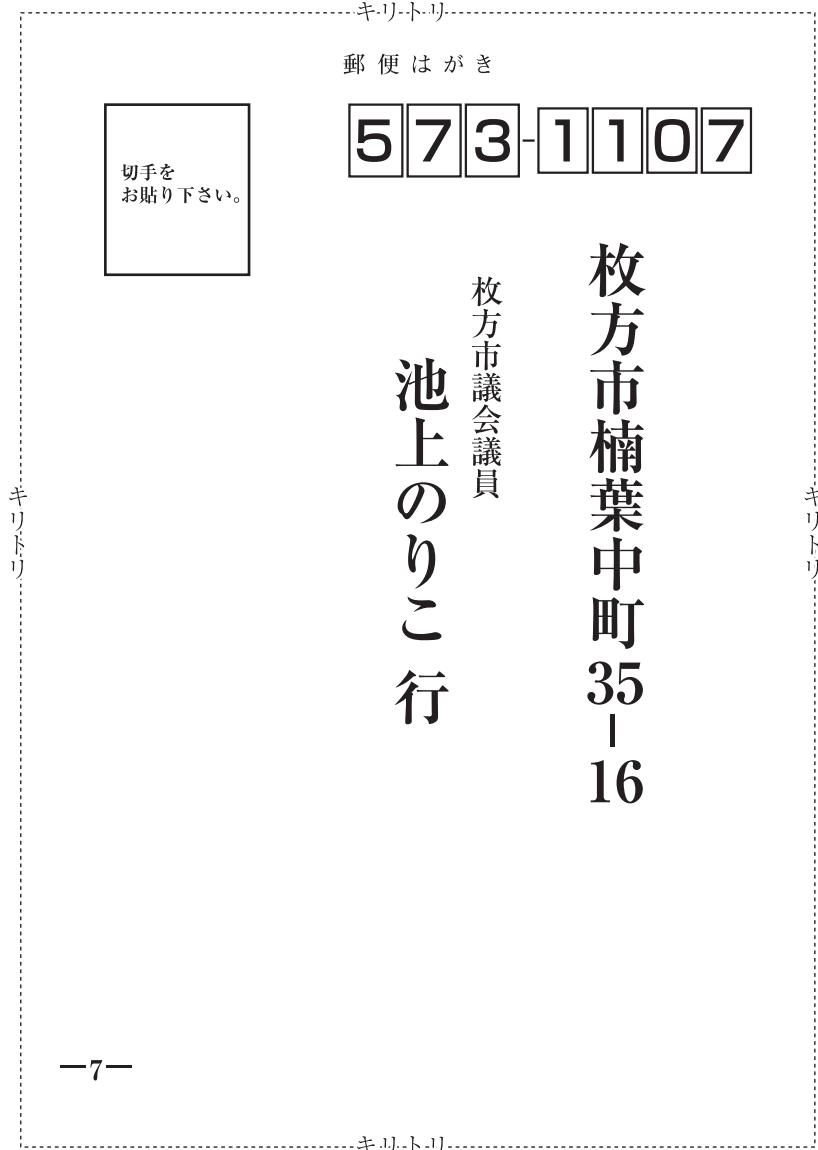
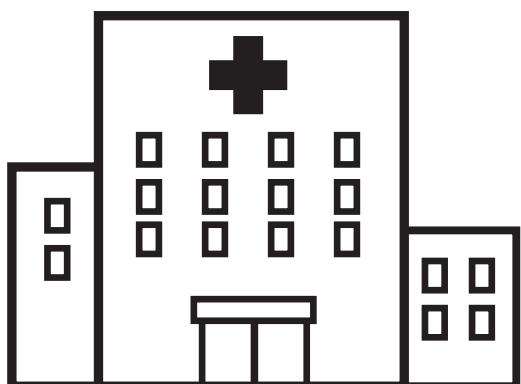
■「いつも組合を・・・」とのご批判も稀に頂くのですが、職員組合については法の整合性はもちろん、市財政の厳しい中で、その多くの割合を占める人件費と密接な関係があり、また、若い職員、頑張っている職員の士氣にもかかわることから、関心を持っているところです。・・・パブリックコメントでは「ただはおかしい！！」のお声を頂くのですが・・・。

6 市民病院について

現在の「市立枚方市民病院」は、地下1階、地上7階の「市立ひらかた病院」として平成26年秋に開院の予定です。(事業費は約160億円)

新病院では、現在行われている24時間365日の小児科・内科・外科等の救急診療の継続はもちろん、小児・周産期医療・がん治療などの分野で特色のある医療を提供することになっています。

他の自治体病院で自治体自身の財政破たんの引き金になった事例もあり、その建設に反対をしていた時期もあるのですが、高齢化、災害等、市民の方のニーズも高く、3次救急の関西医大病院や地域の病院と連携して市民の命の防波堤となって頂きたいたいと思っています。



<中核市移行>



2000年に地方分権一括法が制定され、すでに13年が経過しました。「財源」という意味では疑問が多くあるのですが、権限移譲については少しずつ広がりを見せてています。今年1月にパスポートセンターが枚方市に移管されたこと等、大阪府からの権限移譲も進んでいます。

そのような中で枚方市も一時中断をしていたのですが、今回、平成26年4月の中核市移行をめざすこととなりました。（中核市：全国で41市、大阪府下では高槻市・東大阪市・豊中市：2012年4月1日現在）

かなりの事務量の増加と、それに伴う職員数（人件費）の増加、財源移譲のバランスには注意が必要ですが、地域主権に向かう過渡期と考えています。個々の職員の方にも今まで以上の行政能力が求められることはもちろんですが。

※ご意見（パブリック・コメント）をお寄せください。

パブリックコメント（ご意見）



なや
いじめに悩んだら・・
えがおまも
「子どもの笑顔守るコール」
<ひとりで、なやまないで・・・>
枚方市教育委員会

いじめ専用ホットライン
072-809-7867

いじめになやんでいる子どもたちや、保護者の方を対象としたでんわそุดんです。
「自分がいじめを受けている」「友だちがいじめられている」こういうときには、すぐに相談してください。

**平日（月曜日～金曜日）
午前9時～午後5時**

(フリガナ)	
お名前	年齢 歳
ご住所 〒	